

令和4年度

令和4年12月23日



遷喬小だより

12月号④

学校教育目標 **自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成**

学校スローガン **TEAM遷喬 PRIDE遷喬 ~子どもも 教師も 地域も 伸びる学校~**

地域・保護者の皆様に支えられた2学期でした

2学期も新型コロナ第7波、第8波の影響を受けながらも、なんとか工夫を重ねて、各種教育活動を進めてまいりました。保護者の皆様には、2学期の行事である運動会、真庭支部陸上記録会（高学年）、学習発表会、人権参観日等を通して、子どもたちの成長した姿を見ていただきました。

本校は知・徳・体の調和を重点に「いきいきプロジェクト」を立ち上げ、毎学期、P（プラン計画）D（ドゥー実行）C（チェック評価）A（アクション改善）サイクルを回しながら教育活動を行ってきています。12月19日に校内評価委員会を開催し、2学期の取組の反省と3学期に向けての改善プランについて話し合いました。「いきいきプロジェクト3部会」で協議された概要を紹介します。

知（学び合う子）

2学期に生活科や総合的な学習の時間の学習が充実し、一問一答式ではなく、ともに考え、対話していく授業が成立し、子どもたちの学び方が向上しました。ただ、子どもたちのアンケート結果では「根拠を明らかにして伝える」ことは、目標未達成でした。そこで、3学期は、国語や算数等の教科学習の時間においても、ともに考え、対話や説明させる機会をより増やすように取り組んでいきたいと考えています。ポイントは、「生活科・総合で身に着けた学び方を各教科でも生かすこと」「それを多くの子ができるように広げていくこと」だと思います。「授業で学級をつくる」＝「学習集団作り（ペア・グループ・全体交流）」だと捉えて取り組んでいきたいと考えています。引き続き、「間違えても大丈夫」、「わからないと言える」そんな安心感のある風土を土台に、一人一人の考えを自分の言葉で伝え合う「聞き合う・表現し合う」姿を目指して取り組んでまいります。

徳（支え合う子）

困ったら周りの子が助けてくれたり支えてくれたりする雰囲気があります。生活目標達成に向けて、視覚的に訴えることで、子どもたちは意欲的に頑張ることができているように思います。また、高学年児童が率先して声かけをして、良い見本になっています。挨拶する土壌は高まっていると思います。継続は力なり。保護者アンケートでは、気持ちの良い挨拶は88%。3学期は、子どもたちがいつでもどこでも気持ちの良い挨拶をすることで、地域の皆さんに元気になってもらえるように、どんどん広めていきたいと考えています。これからも運営委員会と生活委員会がコラボして、目的をはっきりさせて、自分たちができることを考えていきたいと考えています。

体（鍛え合う子）

「給食（残さず食べる）」、「食後の歯磨き」、「安全に歩く」の子どもたちのアンケート結果が向上しています。給食委員会による残菜調べにより、できるだけ好き嫌いせずに食べようという意識が高まってきています。動物の足型や保健室前に置いたペットボトルで注意を促したことで、安全に歩くことを意識する子どもたちが増えました。また時間いっぱい掃除もできています。よく働く子どもたちです。班長を中心に高学年が模範となる姿を見せてくれています。外遊びは、よく外で遊ぶ子とそうでない子の2極化がみられるように思います。運動好きな子が増えてほしいので、3学期もチャレンジランキング、運動習慣ランキングに取り組みます。運動習慣ランキングについては、体育担当から効果的な取り組み方などの情報提供をします。寒い時期ですが、みんなで楽しく元気が出る取組になるといいと思います。

このような子どもたちの姿が見えているのも、保護者の皆様、地域の皆様の支えがあってからこそです。

PTA 活動では、それぞれの学年での活動や、はぴらい Movie、運動会はぴらい応援プロジェクト、環境整備（お父さんお母さんプロジェクト）、あいさつ運動、お箸の持ち方、ハチネボ運動、手洗いパトロール、人権講演会、はぴらいイルミネーション等、各種活動に主体的に取り組んでくださいました。とても充実したものになりました。ありがとうございました。

地域の皆様方にも大変お世話になりました。登下校の見守り、参観日託児、学級園整備、草刈り、水やり、図書整理、裁縫ミシン学習、放課後学習、学校探険、図書の読み聞かせ、クラブ活動等、多くの支援をしていただきました。遷喬の子どもたちは、教員だけでなく、地域の数多くの大人たちに支えていただき、いろいろな学びを得ることができ本当に幸せです。心より感謝申し上げます。

子どもたちは明日から17日間の冬休みに入ります。いつもの年よりも長い冬休みです。健康で安全な暮らしができますよう、お祈り申し上げます。

重要<お知らせ> 3 学期から導入・変更します。

- 1 ICTを活用した欠席連絡の導入（今まで通り電話連絡・ICT 活用 どちらか選択できます。）
- 2 自動音声応答電話の導入
- 3 遷喬小だより印刷配布を廃止→ウサギメール・ホームページ活用発信

1・2につきましては、詳細を本日ウサギメールにて連絡いたします。

先日、真庭市教育委員会からICT活用アプリに関するアンケート調査がありました。

本校におきましても、保護者の皆様の利便性や学校の効率化を図っていくうえで新たなことを導入していく必要性を感じ、準備を進めていたところです。

そこで、本校において、3学期からできる方法として上記3つのことを試行したいと思います。

例えば、新型コロナ関連の連絡も、1のICTを活用することで、長期休業中や土日、祝日関係なく、学校に報告することができます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、ウサギメールが届かないという不都合がございましたら、学校（42-0033）までご一報ください。

皆様どうぞよいお年をお迎えください。